

ラベル型 RF タグの取り扱い注意点

ラベル型 RF タグの取り扱いに際して、注意していただきたい事項をまとめました。

ラベル型 RF タグの構造

- ラベル型 RF タグはインレイを内蔵した粘着ラベルです。
-
- インレイはフィルム面に設けた薄い金属層のアンテナ回路に、ICチップを装着した精密な電子部品です。



ラベル型 RF タグの特性

- 強い衝撃、摩擦、引っ張りなどによりインレイが損傷し、アンテナ回路の破断、ICチップの接続不良などが発生して、読み取りができなくなることがあります。
- 薬品に触れると、インレイが腐食、断線して、読み取りができなくなることがあります。
- 強い静電気によりICチップが静電破壊して、読み取りができなくなることがあります。
- ラベル型 RF タグはプラスチック廃棄物に分類されます。（*）
（*）IC タグの捨て方 (<http://www.jaisa.jp/guideline/index.html>)
- 金属表面、内容物の入った液体容器については、専用の RF タグが必要な場合があります。

ラベル型 RF タグの取り扱い注意事項

1. ラベル型 RF タグの保管

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 静電防止シート等に包んで保管してください。
- 重いものを載せたり、転がしたり、衝撃を与えないでください。

2. ラベル型 RF タグ（以下“ラベル”）の貼り付け作業

- 表面が平らで、凹凸のない箇所を選んで貼り付けてください。
- 強いコスレ、強い衝撃を受けそうな箇所は避けてください。
- 梱包作業で、ロープ、ベルトなどがかかる箇所は避けてください。
- やわらかい紙袋、プラスチックバッグ等へ貼り付けるときは、“ラベル”がしわにならないように注意してください。
- 貼り付け作業の前に不要なラベル類は全てはがしてください。
- 印字の失敗などにより新しい“ラベル”を貼る場合は古い“ラベル”を剥がして下さい。
- 丁寧に貼り付けてください。表面を強くこすらないでください。
- はがした“ラベル”を再使用することは避けてください。

